

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年11月28日

計画の名称	滑川市における幹線道路の安全で快適なみちづくりの推進（防災・安全）														
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）											重点配分対象の該当	○		
交付対象	滑川市														
計画の目標	老朽化した橋梁を総点検した結果を踏まえ、緊急対策、長寿命化等の計画的・戦略的な維持管理・更新を実施することにより、安全で快適な道路環境を確保する。														
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		128	A	128	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30	H32末	H34末
1	滑川市の市道橋のうち、橋長5m以上かつ修繕が必要な橋梁の長寿命化対策率を、12%（H30）から21%（H34）へ上昇させる。 橋梁の長寿命化対策率を集計する。 対策済み箇所数 / 橋長5m以上かつ修繕が必要な橋梁の数（71橋）			
		12%	21%	26%
2	滑川市の市道橋のうち、橋長5m以上かつ修繕が必要な橋梁の長寿命化対策数を、9橋（H30）から19橋（H34）へ上昇させる。 橋梁の長寿命化対策数を集計する。 対策済み箇所数			
		9数	15数	19数

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	滑川市	直接	滑川市	市町村 道	計画調 査	（ 1 ）滑川富山線他 伊 遠乃見橋他	橋梁長寿命化修繕計画	滑川市						8		-
	A01-002	道路	一般	滑川市	直接	滑川市	市町村 道	修繕	（ 他 ）清水町辰野線 柳 原第 2 跨道橋	橋梁修繕（15m以上） 1 橋	滑川市						20		策定済
	A01-003	道路	一般	滑川市	直接	滑川市	市町村 道	修繕	（ 他 ）本江栗山線 本江 高架橋	橋梁修繕（15m以上） 1 橋	滑川市						20		策定済
	A01-004	道路	一般	滑川市	直接	滑川市	市町村 道	修繕	（ 他 ）本江栗山線他 安 田 2 号橋他	橋梁修繕（15m未満） 54橋	滑川市						20		策定済
	A01-005	道路	一般	滑川市	直接	滑川市	市町村 道	点検調 査	（ 1 ）滑川富山線 伊遠 乃見橋他	橋梁点検（ 5 m以上） 106橋	滑川市						20		-
	A01-006	道路	一般	滑川市	直接	滑川市	市町村 道	修繕	（ 他 ）本江栗山線 安田 1 号橋	橋梁修繕（15m以上） 1 橋	滑川市						20		策定済

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-007	道路	一般	滑川市	直接	滑川市	市町村 道	修繕	（他）本江栗山線 本郷 橋	橋梁修繕（15m以上）1 橋	滑川市						20		-
											小計						128		
											合計						128		

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
滑川市建設部建設課	令和4年3月末
	公表の方法
	市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	老朽化した橋梁を総点検した結果を踏まえ、緊急対策、長寿命化等の計画的・戦略的な維持管理・更新を実施することにより、安全で快適な道路環境を確保できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	橋梁点検を実施したことにより、判定　の橋梁を発見し、橋梁の通行止めを実施した。これにより、利用者の安全を確保できた。
特記事項（今後の方針等）	
道路メンテナンス事業により、引き続き橋梁点検、修繕を実施する。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	道路付属物対策		
	最 終 目標値	26%	
	最 終 実績値	26%	
2	道路付属物対策		
	最 終 目標値	19数	
	最 終 実績値	19数	